



No.1  
令和5年  
6月議会

大垣市議会議員

# 本田ゆみこ 市政報告

あらたな風で大垣市の未来をつくりだします!

今回、下記の3件について質問しました。

## 子どもの居場所 1回目質問

- ①子ども食堂補助制度の見直しで、場所代を別に補助すること
- ②留守家庭児童教室の充実、すなわち、職員を増員すること、研修の充実や活動場所を拡大すること
- ③児童館を各小学校区域に1箇所ずつ設置すること
- ④放課後子供教室の設置をすること

### 1回目答弁(石田仁 市長)

子ども食堂補助制度の見直しでは、調理器具等補助メニューを追加しました。留守家庭児童教室は、1000人の入室希望があります。1クラス40人2人の指導員を適切に配置し運営しています。また、特別支援学級在籍児や配慮を必要とする児童には指導員を加配する必要があるため、広報おおがきや県内の大学でお知らせし人材確保に努めています。研修においては県主催の資質向上研修、市においては子どもの理解や指導の向上を図る研修実施に努めています。また、教室以外にグラウンドや体育館を利用して体操やボール遊びをしています。放課後子供教室の設置については、活動場所や地域の協力者の確保が課題ですので、引き続き検討課題とさせていただきます。

### 2回目 質問

- ①会場使用料を上限なしで負担していただくか、公共施設の使用料は無料にすべきだと思います。
- ②子育て日本一というのであれば、各小学校区にいろいろな居場所の選択肢として放課後子供教室の実施や児童館の設置をしてはどうですか。選択肢があることが子どもと親の安心に繋がります。



### 2回目 答弁(石田仁 市長)

子育て日本一を目指すということで、今一生懸命検討しています。児童館新設の計画ではなく、既存の施設を活用ということになります。いろいろな委員会を通して、子ども居場所づくり懇談会、子どもの居場所づくりをしていただいているいろんな方々の懇談会を含めて、現在ある地区センター、墨俣、浅草等にもありますけど、いろいろな施設をどう活用していくか、そのことについて検討しながら大垣市独自の「大垣市にあった子育て、子どもの居場所」といったものを探しています。また、場所代のことですが、子ども食堂についての補助金について、いろいろな備品等設備をそろえていただいてスタートしたところで、まずやっていただくことに重点を置くべきではないかと考えています。皆さん本当に頑張ってそれぞれの地域の居場所に対して支払っているのは知っておりますけれども、順序から考えましてまず備品でスタートしました。これから先まだございますので、いろいろ皆さんとの話し合いより充実した形にしていきたいです。

Yumiko Express



人生において、議会で初めての一般質問では、緊張しながらも質問をしました。質問冒頭に、「誰一人取り残さない」と「人にやさしい」をキーワードとして質問、提言していくことを述べました。今後も学びを深めながら、市民の声を届けていきます。引き続きのご指導、ご支援よろしく申し上げます。

勉強会

## テーマ 「不登校支援のあり方」

- ◆日時 7月22日(土)14時～15時30分
- ◆場所 大垣市安井地区センター 会議室

## 学校給食費無償化 1回目質問

- ①大垣市小中学校で給食費無償化をしてはどうでしょうか?

### 1回目答弁(平松善幸 教育委員会事務局長)

給食センターでは、有識者を含めPTA会員や教育委員会等で構成する大垣市学校給食センター運営委員会を設置し、献立の方針や学校給食費についてご意見をいただきながら適正な運営に努めています。給食費無償化につきましては、財政負担が極めて大きいため考えていません。現在、国において子育て施策の試案の中で検討されており、動向を注視していきます。

### 2回目 質問

- ①池田町、揖斐川町、垂井町では無償化を実施しています。それらの町よりも財政力の豊かな大垣市は、なぜできないのでしょうか?

### 2回目 答弁(平松善幸 教育委員会事務局長)

国の動向をみて検討します。

他の自治体でできてなぜ大垣市は給食費の無償化ができないの?



## 消防のあり方 1回目質問

- ①大垣市役所の東側にある分駐所の建物の早期建設、同時に本署への格上げ、それに伴い署員の増員とはしご車を常駐させること
- ②消防の広域化の必要性について

### 1回目答弁(青井明彦 生活環境部長)

大垣市消防組合は、大垣市、神戸町、池田町、安八町、輪之内町の1市4町において消防事務を共同で処理するために組織された特別地方公共団体です。中分駐所は、S32に竣工し建設から約65年が経過しており、新たな分駐所の建設におきましては、事業実施主体である大垣消防組合からR9年度の完成に向けて、建設場所などの検討を行っています。

また、はしご車の配置や職員増員の増員につきましても検討しています。消防広域につきましても、大垣消防組合は、管轄人口約22万人を有する広域消防であり、周辺市町や消防組合と災害発生時の相互応援協定を締結しております。その協定に基づき、災害の規模などに応じた協力体制を確立しており、さらなる広域化の計画はないです。今後も安全安心なまちづくりを推進するため、さらなる消防力の充実及び強化に向けて、構成市町で連携していきます。



### 2回目 質問

- ①スピード消火について
- ②西南濃廃棄物処理センター火災などの対応、さらなる広域化に向けて

### 2回目 答弁(青井明彦 生活環境部長)

分駐所は消防庁舎建設計画に従って進めています。また、西南濃廃棄物処理センター火災では、総合応援協定で派遣区域を定めており、第1次派遣区域は災害の発生を発見した場合等は出動することになっていますが、第2次派遣区域については当該市町からの要請に従い出動することが定められています。

西南濃廃棄物処理センターは、第2次派遣区域になるため養老町からの応援要請がなかったため出動しませんでした。また、現時点での災害協定につきまして、災害規模に応じた協力体制を確立していますので、さらなる広域化の計画はないとのことです。

ホームページをご覧ください

<https://yumikohonda-net.com>

ご意見ご質問がおりの方は…Eメール

[hondayumiko-net@octn.jp](mailto:hondayumiko-net@octn.jp)



本田ゆみこ  
事務所  
自宅事務所

〒503-0824 大垣市旭町1丁目5番地  
TEL 71-8677 FAX 75-2455  
〒503-0831 大垣市新長沢町1丁目26番地1